

令和5年度 第2回 市民活動支援センター運営委員会

	令和5年5月20日(日) 10時00分～12時15分							
会場	市民プラザあくろす2階 はばたき							
運営委員	欠席	村上 むつ子	会場	平澤 和哉	会場	横山 真理	会場	水田 征吾
	欠席	加藤 和歌子	会場	毛利 勝	会場	小松 明日香	会場	原島 秀一
	会場	石井 洋子	会場	阿部 秀樹	会場	浜本 正樹	会場	石正 房江
	欠席	安藤 雄太	会場	佐竹 澄子	会場	熊谷 紀良	会場	松谷 知彦
	会場	田村 敦史	欠席	ニンファ・ジャヤマーンナ				
事務局	橋本、池田、浅見、鈴木							

1 はじめに

- ・1分間近況報告
- ・資料確認

【審議事項】(10:20～10:30)

2 令和4年度事業報告(案)の承認

資料1

【事務局】事業報告(案)を事前に配信し、不明点や修正、加筆の確認をお願いした。一部、誤字脱字等、ご指摘いただいた箇所がある。最終案はそれらを反映させたものです。内容を確認いただき、ご意見がないようであれば、この場でご承認いただきたい。

●審議結果

参加した全委員の拍手にて承認された。

3 令和4年度決算書(案)の承認

資料2

【事務局】資料が2枚配布されている。資料②-1のボランティア活動推進事業は主にコーナーの運営に関わる予算だ。市区町村補助金収入の予算残高をご覧いただきたい。最終的に1,066,947円を調布市に返還している。こちらは人件費で、残業経費を含め、多めの金額になっている。1年を通して、事業を行った結果、残額が954,216円だった。また、少額の事務費の返還も行った。資料②-2は、市民活動支援センターの主な運営予算だ。協働推進課の方から委託費としていただいている。こちらも調布市受託金収入、残高の952,325円を返還した。こちらもボランティア活動推進と同様に内訳の一番大きな金額としては804,447円が人件費となっている。人件費は他へ転用できないため、返還した。昨年度については概ね事業を実施し、使い切っている。こちらの決算書について何か質問はあるか。では決算についても、この内容でよろしければ、拍手で承認いただきたい。

●審議結果

参加した全委員の拍手にて承認された。

【共有事項】（10：30～11：05）

4 市民活動支援センターの位置づけ及び前期の取り組みについて
市民活動支援センターの位置づけについて

資料3

【事務局】 前回の運営委員会の中で、枝見氏が市民活動支援センターの位置づけや、委員会について講話してくださった。その話ののち、水田委員長が運営委員としての経験談を語ってくださった。そのことで委員会を身近に感じてくださったのではないかと思う。今日は事務局の方から運営委員会を知っていただきたく、資料を複数用意した。抜粋して説明していきたい。

資料③-1 調布市市民プラザあくろす条例

資料③-2 社会福祉法人社会福祉協議会市民活動支援センター運営要綱

資料③-3 市民活動支援センター運營業身委託仕様書（令和5年度）

以上、資料に基づいて事務局から説明した。

これらのベースがあり、市民に開かれたセンター運営をしていく中で、運営委員会を設置し、このように会議を開いている。その運営委員会の中で、センターの5年間の方針を策定している。

資料③-4 中長期運営方針 資料に基づいて事務局から説明した。

更に中長期運営方針があり、その5年間を見据えながら、1年ずつの事業予算や、事業計画というところに落とし込まれ、運営されている。条例や要綱など法律的な文言になるので、硬い文章になってしまうが、参考資料としてお配りさせていただいた。是非、お目通しをしていただきたい。

前期の取り組みについて

【事務局】 中長期運営方針を運営委員会で策定し、今迄は1期ごと（2年間）の中で何に取り組むのかテーマを決めていた。このあとの議論は「気になっている地域の課題」だ。その中からテーマが見つかったらいい。そのためにブレインストーミングしていきたい。

参考までに、運営委員会 前期の取り組みを紹介する。資料③-5をご覧ください。

1) えんがわ文庫の開設と推進

えんがわ文庫はセンター入口、右側に有るスペースだ。ここには以前大量印刷機が設置されていた。またこの場所は市民の方から暗くて入りにくいと言われていた。そのようではセンターに興味を持っていただけない。入りやすく使い易くなる取り組みはないか委員会で議論し、前期にえんがわ文庫を開設することができた。これはコロナ禍で色んな事業がつぶれてしまい、イベントに使う予定の予算が使えなくなってしまったことも大きなきっかけだった。具体的な予算が出来、いろいろな方に知っていただきたく、明るい雰囲気ですぐ足を踏み入れていただける場所にできたらと言う思いで開設に至った。

2) えんがわカフェ（おはなしほっとカフェ）の開催

市民の方々に社会参加をしていただくということがセンターの大きな役割だ。きっかけを作るために色々なテーマでイベントを開催した。市民の方に参加していただこうと、運営委員会で毎月1回、カフェ形式のイベントを開いた。敷居の低い形式で興味を持ってもらい市民に参加してもらおうと企画した。4年前の運営委員会から引き継いで、取り組んだものになっている。前期については子育て世代の地域参画に注目して、子育てひろばをセンターで開くために「おはなしほっとカフェ」や「双子、三つ子カラフルマイモ」「電車っこパーティー」（パパ会）なども開催している。昨年は23回実施、約160名の参加があった。

3) ボランティアコーナーとの連携

前期より前はコーナー職員が運営委員会に参加していなかった。委員さんにセンターのことを知っていただくことはできるが、地域に根付くボランティアコーナーには目が向かず、知る機会がなかった。地域に根付いたボランティアコーナーをきちんと知っていただく意味で、ボランティアコーナー職員に運営委員会に参加してもらったり、運営委員がボランティアコーナーを見学したりした。そうした中で、代表的なものが、菊野台コーナー職員と運営委員との連携で立ち上がった「手話タイム調布」という企画があり、毎月1回実施されている。今期、新任の運営委員もこの企画の参加者である。

4) 居場所探訪プロジェクト

コロナ禍の影響もあり、地域の中で居場所がない人が問題になった。居場所やサードプレイスという言葉も最近よく聞かれる。そういった場所が地域にあることを市民に発信していくことが必要だ。そして、新しいサードプレイスを運営委員会が発信し、作っていくことが大事だ。まずは、地域の居場所を運営委員が調べ、見学し、市民に発信できるような体制を作ろうと、居場所探訪プロジェクトが始まった。残念だが中心になっている委員が本日欠席している。今回配信した資料を含めて14か所を巡り、レポートにまとめて下さっている。今後はこの経験を活かし、この取り組みを市民に還元していきたい。情報提供できるような冊子などにまとめられるとよい。参考までに前期の取り組みを紹介した。加えて運営委員会主催事業の「えんがわフェスタ」という市民交流のイベントがある。昨年度は「居場所を巡る」というテーマだった。こちらは市民の方と委員さんが一緒に巡るという企画を実施した。前期は4つの取り組みを行った。こちらを継承していくことも1つだが、この後の議論で出てくるものを新たに加えて行きたい。今期このメンバーでどんなことに取り組んで行くのか、深めていけたらいい。③-6は居場所の簡易資料だ。質問はないか。

【委員長】事務局からわかりやすく説明いただいた。皆さんに理解していただきたいのは、調布市市民プラザあくろす条例や運営要綱などの骨組みが有った上で、中長期運営方針がある。そこから、具体的な活動が展開されていることがご理解いただけるかと思う。

【委員】文字が多く、わかりにくくないか。図などになっているとよいのでは。

【委員長】同じように感じられている人もいるだろう。今の時点では全体像が見えない方もいるだろう。皆さんと相談しながら進めて行こうと思う。次に移りたい。

5 中長期運営方針について

資料4

【委員長】5年ごとに5か年の長期計画を立てている。今年は5年目の節目になっている。2023年からの中長期計画を前期の運営委員のメンバーで作成した。我々が運営委員会をやっていく中で、心臓に近い部分かと思う。しっかり意識しながら、活動することを念頭に置いていただきたい。

資料④左ページ

I はじめに (バックグラウンド)

【委員長】ここ数年で、世の中が変わってきている。多様化や複雑化のところはまさにフォーカスされている部分かと思う。調布も例外でない。前回のプレゼンテーションでお伝えしたが、皆さんが例えるならば“アベンジャーズ”となって取り掛かるという構図になっている。

II ◎基本理念 ○役割（ビジョン、ミッション）

「市民が主役の住み続けたいまちづくり」「未来に希望が持てる社会の実現」を達成するため、地域に参加し・関わることの価値や意識を、市民ひとりひとりの中で向上させることを目指して行動する。

【委員長】市民が中心となってやっていくことを後押しすることが、センターの役割だ。

資料④右ページ

III センターの目指す5年間の運営方針の柱

左ページの5つ柱（以下1～5）は、III センターの目指す5年間の運営方針の柱をより具体的にしたもの。大事な方針なので共有していきたい。

- 1 市民活動支援センターの地域参加の推進
- 2 パートナーシップの強化
- 3 えんがわファンドによる寄付文化の醸成
- 4 居場所やサードプレイスの周知と推進
- 5 災害時に備えた支え合いの醸成

以上、資料④2023～2027調布市市民プラザあくろす 市民活動支援センター 中長期運営方針～市民活動支援センターがつなげる「まちのえんがわ」を目指して～

資料に基づいて説明し、内容を共有。

【委員長】非常に大事な部分になる。なぜかと言うと、活動を進めて行く中で、迷ったとき立ち返るところはここになると思う。やっていく上で理解が深まるだろう。意義のある濃度の高いものにできると思う。目指す方向を確認する上でも活用いただきたい。質問はないか。この後の協議は、今年のテーマを見つけ出す時間にしていきたい。宜しくお願ひしたい。

【協議事項】（11：05～12：05）

6 運営委員会で今期取り組むテーマの協議

- ・気になる（関心のある/改善したい）地域課題とその理由
（ファシリテーター/水田委員長、横山副委員長、原島副委員長、事務局池田）
（書記/事務局）

●協議結果

4つのグループに分かれ、グループワークを行った。

協議内容については、別紙有り

【報告事項】（12：05～12：10）

7 居場所探訪プロジェクトについて

1000+1 BOOK（センイチブックス）レポートを読んでいただきたい。

また是非、居場所を一緒に探訪してほしい。

資料5

【その他】（12：10～12：15）

8 共有事項

年間スケジュール

資料6

【委員長】共有事項はないか。

【委員】CAPSで正規職員1名、また週3~4日勤務のアルバイトも募集している。福祉に興味のある方がいらっしゃったら、どなたかご紹介いただきたい。

【事務局】その他地域情報などはあるか。無いようであれば本日の運営委員会を終了する。

9 今後の市民活動支援センター運営委員会の開催日時と議案について

- ・令和5年6月21日(水)19時~21時
- ・令和5年7月21日(金)15時~17時
- ・令和5年9月15日(金)19時~21時